

## 議 事 録

会 議 名	令和6年第1回小牧警察署協議会（定例会）																													
日 時 ・ 場 所	令和6年2月22日(木) 午後2時から午後3時10分までの間 ----- 小牧警察署 講堂																													
出 席 者	<p>1 委員</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">長縄 靖</td> <td style="width: 33%;">会長</td> <td style="width: 33%;">鈴木 浩一</td> <td style="width: 33%;">副会長</td> </tr> <tr> <td>姉川 健治</td> <td>委員</td> <td>AHMAD UMAR ZAHRI</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>川口 エリカ</td> <td>委員</td> <td>吉田 弘子</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>門澤 光洋</td> <td>委員</td> <td>永井 基幸</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>松本 善幸</td> <td>委員</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">以上9名（定数10名）</p> <p>-----</p> <p>2 警察署員</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">原田署長</td> <td style="width: 33%;">小池副署長</td> <td style="width: 33%;">高木警務課長</td> </tr> <tr> <td>朝倉会計課長</td> <td>丹羽生活安全課長</td> <td>山部地域課長</td> </tr> <tr> <td>伊左治刑事課長</td> <td>菱田警備課長</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">以上8名</p> <p>-----</p> <p>3 有識者等</p> <p>なし</p>	長縄 靖	会長	鈴木 浩一	副会長	姉川 健治	委員	AHMAD UMAR ZAHRI	委員	川口 エリカ	委員	吉田 弘子	委員	門澤 光洋	委員	永井 基幸	委員	松本 善幸	委員			原田署長	小池副署長	高木警務課長	朝倉会計課長	丹羽生活安全課長	山部地域課長	伊左治刑事課長	菱田警備課長	
長縄 靖	会長	鈴木 浩一	副会長																											
姉川 健治	委員	AHMAD UMAR ZAHRI	委員																											
川口 エリカ	委員	吉田 弘子	委員																											
門澤 光洋	委員	永井 基幸	委員																											
松本 善幸	委員																													
原田署長	小池副署長	高木警務課長																												
朝倉会計課長	丹羽生活安全課長	山部地域課長																												
伊左治刑事課長	菱田警備課長																													
諮 問 事 項 等	特殊詐欺の未然防止対策の推進																													
答 申 等 の 概 要	<p>1 前兆電話も含め身近で発生した特殊詐欺情報の積極的な発信</p> <p>2 「アイチポリス」アプリへの加入を促進し、「アイチポリス」を活用した身近な事件情報の市民への周知</p> <p>3 高齢者が参加する各種会合やイベントを通して、特殊詐欺情報の積極的な周知</p>																													
そ の 他	次回開催予定 令和6年5月中旬																													

会議の経過及び発言の要旨	
1	委嘱状の交付
	署長から新規委員に対して公安委員会からの委嘱状を交付した。
2	会長及び副会長の選出等
	委員の互選により、長縄委員を会長に選出し、会長は、鈴木委員を副会長に指名した。
3	会長挨拶
4	署長挨拶
5	各種報告
	(1) 管内の犯罪発生状況[令和5年中、令和6年1月]（生活安全課長説明）
	(2) 管内の交通事故発生状況[令和5年中、令和6年1月]（副署長説明）
6	前回の答申に対する具体的施策の推進状況（署長説明）
	(1) 諮問事項
	令和6年小牧警察署に望むこと
	(2) 答申事項
	ア 警察に相談しやすい仕組みづくりの構築
	イ 交通事故抑止に向け、マンネリ化しないような関心を集める形での交通指導・広報啓発活動の実施
	ウ 各種会合等へ警察官が積極的に参加し、防犯講話や交通安全講話を実施
	エ 高齢者の運転免許証返納の促進
	オ 日本語が理解できない外国人を対象とした活動
	(3) 推進施策
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
ア 答申事項アについて	
相談事を専門に対応する住民サービス係があり、その係で情報公開制度や被害者支援の対応を行っている。	
○ 住民サービス係では警察官のOBも相談員として配置し、相談体制を充実させている。	
イ 答申事項イについて	
交通事故抑止等のイベントや施策を行う際には、積極的にマスコミへの広報を実施し、取材をしてもらうことで多くの市民への周知を図っている。	
ウ 答申事項ウについて	
生活安全課、交通課だけでなく地域課でも地域安全担当官を中心に地域会合へ積極的に参加し講話を実施している。	
エ 答申事項エについて	
同一人物が複数回交通事故を起こした場合は、大事故につながる前に、家族を巻き込んで運転免許証の返納を促した。	
オ 答申事項オについて	
外国語のリーフレットを活用して説明を実施した。	
複数の指定通訳員が配置されており、各種言語に対応している。	
中長期的な取組として当署の若手警察官が語学研修に参加している。	
7 諮問	
(1) 諮問事項	
特殊詐欺の未然防止対策の推進	
記録者	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
(2) 諮問事項の設定理由（署長説明）	
令和5年中の小牧署における特殊詐欺認知件数は、暫定で27件、5,178万円と過去10年で2番目に高い件数となっている。小牧市内では、キャッシュカードを狙った詐欺盗が10件で全体の37パーセントと多くなっている。	
被害者については、80代の被害者の割合が56パーセントと多く電話がきっかけとなり発生している。これらの犯罪は固定電話、高齢者がキーワードになっているため、「常時留守番電話設定」、「迷惑電話防止機能付電話機の設置促進」、「小牧市と連携した電話機設置に対する補助金の交付」等について高齢者へ周知のために広報しているが、効果的な対策について協議をお願いしたい。	
8 協議	
委員	・ パターン化された手口を具体的に広報したらどうか。
委員	・ 直接、会合等で話した方が身近に感じるため効果的ではないか。
	・ 高齢者が集まる会合や短時間の体操教室のような場所でも、直接講話をしたらどうか。
委員	・ 注意喚起のポスターの掲示が少ない気がするので、もっと多くの人の目に触れる場所に掲示したらどうか。
	・ 事前に家族間で何らかの秘密の暗号を決めておいたらどうか。
委員	・ 身近な犯罪情報を知ること、自分のこととして認識でき、身の回りのことにもっと注意を払うことができる。
	・ 身近な犯罪情報を知ってもらうために、もっと「アイチポリス」アプリを周知して活用してもらう。
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
委員	・ 若者の中にはアルバイト感覚で犯罪行為をする人もいるので、少年のときから学校で研修等を行ったらどうか。
委員	・ 実際に親族の家に孫をかたった詐欺の電話があったが、母親に直接確認して詐欺の電話だと判明し、被害に遭わなかったので、確認することが大切だと思う。
委員	・ 高齢者に対しては、キャッシュカードを発行せずに、通帳だけにしたら被害を防げるのではないか。
委員	・ A T Mからの振り込みで被害に遭う人がいるので、A T Mでの携帯電話の使用を禁止にする等したら被害を防げるのではないか。
署長	・ 蒲郡署の管内では被害が少なくなっているが、その要因は、震災発生時に津波が予想されているため、各家庭に防災無線があり、情報発信にその無線を活用しているからであると思われる。
	・ 当署で前兆電話を認知した場合は、「パトネットあいち」での情報発信の他に、パトロールカーでの広報も実施している。
9 答申	
	(1) 前兆電話も含め身近な犯罪情報の積極的な発信
	(2) 「アイチポリス」アプリへの加入を促進し、「アイチポリス」を活用した身近な事件情報の市民への周知
	(3) 高齢者が参加する各種会合やイベントを通して、特殊詐欺情報の積極的な周知
10 その他	
	次の開催予定は、令和6年5月中旬頃とする。
	記録者
	警務係長